

科目「マーケティング」学習指導案（本時1／3）

段階	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価の観点			評価方法
						知技	思 判 表 等	学 人 等	
導入	5分	・本時の内容	・本時の内容を理解する。	・本時に適正な在庫高の算出について学習することを伝える。					
展開	10分	・商品回転率による標準在庫高算出方法	・商品回転率による標準在庫高算出方法を理解する。	・商品回転率による標準在庫高算出方法について、理解させる。 ・原価による商品回転率の算出方法について、理解させる。 ・平均商品棚卸高の算出方法について、理解させる。 ・年間標準在庫高の算出方法について、理解させる。 ・問題1をペア学習で解かせる。	・商品回転率による標準在庫高算定ができる。	○			行動観察
	10分	・在庫販売比率による標準在庫高算出方法	・在庫販売比率による標準在庫高算出方法を理解する。	・在庫販売比率の算出方法について、理解させる。 ・月別標準在庫高の算出方法について、理解させる。 ・問題2をペア学習で解かせる。					
	20分	・標準在庫高算出方法の違い	・商品回転率を探究させる。 ・標準在庫高算出方法の違いについて考察する。 (商品回転率、在庫販売比率)	・企業にとって、商品回転率が高い方がよいか、低い方がよいか考えさせる。 ・商品回転率と在庫販売比率の算出方法の違いによるメリット、デメリットを考えさせる。 ・商品によって季節変動の激しい商品の標準在庫高の算出には、在庫販売比率による方法が適切であることを理解させる。 ・商品回転率を上げるためにどうすればよいか考えさせる。	・ペアワークで積極的に発言できる。		◎		行動観察
まとめ	5分	・本時のまとめ	・本時の内容を再確認する。	・標準在庫高算出方法を確認する。	・本時の内容を踏まえ、商品管理を行う理由を考察できる。		○		

科目「マーケティング」学習指導案（2／3）

段階	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価の観点			評価方法
						知技	思 判 表 等	学 人 等	
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の復習</li> <li>本時の内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の学習内容を復習する。</li> <li>本時の内容を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解の遅れている生徒には助言を行い、発言をさせる。</li> <li>本時商品管理や在庫管理の手法について学習することを伝える。</li> </ul>					
展開	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品回転率の分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品回転率と粗利益率を探究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品回転率について、再度復習させる。</li> <li>売上原価について、発問しながら、確認をさせる。</li> <li>ワークシートの同業他社（小売業）の分析をさせる。問題3【グループワーク】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業の分析を行い考察して、意見を積極的に出し、自分の考えを論理的に発言できる。</li> </ul>		○		発言
	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>在庫管理の重要性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在庫管理の重要性を探究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業にとって、在庫が充足しているメリットまたは、在庫が不足しているデメリットを考えさせる。在庫管理の重要性を理解させる。</li> <li>ワークシートに記入させ、グループごとに発表させ、情報を共有させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品回転率を理解した上で、在庫管理の重要性を考察し、グループでの意見を発表できる。</li> </ul>			◎	発表
	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>交差比率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交差比率の重要性を探究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品の交差比率とは何かを理解させる。</li> <li>粗利益率とは何か、理解させる。例を挙げてどの商品がよいか考えさせる。【グループワーク】問題4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>				
まとめ	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の内容を再確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品管理を行う理由を考えさせる。</li> </ul>					

科目「マーケティング」学習指導案（3／3）

段階	時間	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価の観点			評価方法
						知技	思 判 表 等	学 人 等	
導入	5分	・本時の内容	・本時の内容を理解する。	・本時は企業の方から実際の商品を例に、在庫高調整の手法について学習することを伝える。					
展開	25分	・企業人講話	・企業の方から実際の商品について話を伺う。	・実際の商品を例に挙げて、商品回転率・粗利益率・売上原価について理解させる。 ・実例を挙げて、在庫処分による方法を理解させる。 ・実例を挙げて、商品の物的管理について理解させる。					
	5分	・発表準備	・授業を振り返り学んだことを整理する。グループの意見をまとめる。	・論理的に発言できるように留意して思考させる。 ・グループの中で積極的に参加し発言させる。					
	10分	・全体での情報共有	・授業を振り返り学んだことを整理する。	・グループごとに商品計画の分野で学んだことを全体に対して発表させる。また、企業人講話での感想を発表する。	・全体の場で積極的に発言をすることができる。			◎	発言
まとめ	5分	・本時のまとめ	・本時の内容を再確認する。	・商品計画で重要なことを考えさせる。	・本時の内容を踏まえ、商品計画を行う理由を考察できる。		○		